

働く者が手をつなごう ～私たちが主役

2012 夏期組合学校

7月14日(土)

13:30 14:30 16:15 18:30
14:00 16:00 18:00 20:30

受付	全体会 基調報告	開校講演	休憩	分散会	休憩	夕食交流会
----	-------------	------	----	-----	----	-------

7月15日(日)

8:30 9:00 10:45 12:30
9:00 10:30 12:15

受付	分散会	休憩	閉校講演	全体会
----	-----	----	------	-----



学んだら行動
手をつなぎ!

日時 - 12年7月14日(土) ~ 15日(日)
13:30 ~ 受付 12:30 終了

場所 - 東横イン中部国際空港

〒479-0881

常滑市セントレア.....

tel 0569-38-0045

fax 0569-38-0046

アクセス

電車・名鉄中部国際空港駅より改札を出て
左手高速船乗場への連絡通路を通
り右側.....徒歩5分

車・「セントレア東」・・下車直進500・・中
部国際空港で降りないで下さい!右の
地図参照・宿泊者48時間無料

特急電車 名古屋 - 金山 - 中部国際
12:50 12:54 13:18 ミュー
13:01 13:05 13:36
13:20 13:24 13:48 ミュー など多数



主催: 全国福祉保育労働組合東海地方本部・東海ブロック協議会

TEL: 052-881-2971 FAX: 052-881-2998

14日(土) 開校講演

講師：唐鎌直義（からかまなおよし）先生と、
これからの日本の社会保障を描いてみよう。



敗戦のがれきの中から・日本が・復興できたのは、粘り強さや勤勉ではなく、憲法や～中略～戦後民主主義の抬頭に希望を持つことが出来たから。・3・11以降の日本は・今までと違う路線を敷設しよう。

唐鎌先生が、今の日本の社会保障や福祉の実態と問題点を、諸外国との比較も交えながら明らかにします。社会福祉を、利用する人も、働く私たちも、運営する立場の人も、みな、「安心していき生きと生活できる」社会とはどんな社会なのか。社会保障の展望はどうあるべきなのかを導き出していきます。

私たちが主人公となって、その希望・路線を描き、実現できるよう行動していきましょう。

【プロフィール】

唐鎌直義：1952年生まれ。1974年、静岡大学人文学部法律経済学科卒業。1982年、中央大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。長野大学助教授、大正大学教授を経て、2002年、専修大学経済学部教授。社会保障論担当。2012年から立命館大学教授。

14-15(土・日) 分科会

あなたはどの分科会？ どれか1つを選んでご参加下さい

今年の分科会は、みんなで学び合ったことから、自分が主人公となって一歩行動へつなげられるように意識して作っています。明日から手をつなぎ取り組もう・

A 「正職・臨職・パート～みんな同じ労働者～」

「パートだけど有給休暇ってあるの・」「休憩はちゃんと取れてる・」当然の権利が保障されていますか・「正規・非正規の違いって、なんだろう・」子どもやお年寄り、障がいを持つ仲間など利用者に向き合う責任は同じですよ・その内容と賃金のバランスはどうなのかな・「正解」はないかもしれないけど、当たり前権利も学びながら、いっぱい交流しましょう。

B 「組合ってなあに？」新しい人にお勧め！

希望を持って、福祉・保育職場に就職したけれど、なんでこんなにしんどいこといっぱいあるのかなあ・うちの職場の働き方は当たり前なのかなあ・「労働組合」は何をすところなのかな・悩みや、職場でちょっと聞きにくいことも出し合って生き生き働く力にしていきましょう。

C「どういう分会を開いてる？」 分会役員さんにお勧め 提案分会：複数分会予定

職場のしんどさは本当に凄くて…。削れるとすると分会会議...・みたいになってきて…。でも、じゃあそれで少しは楽になっているのかと言えばそうでもなくて。久々にみんなで集まってみたら、働くしんどさを話せたり、その思いが共有できて解決への糸口が見えてきたり…。やっぱり分会って大切・皆さんの分会はどんな風に工夫して分会会議を開いていますか・分会がひとり一人の要求実現の場であるために交流して学び合いましょう。

*分会会議のレジュメを持参して下さい。

D「プライベート（家庭含む）と仕事と活動と」

仕事や実践、頑張りたい。学びたい事もたくさん・プライベートも充実させたい・でも、仕事は忙しいし勤務時間外に行く活動も多くて、とてもそんな余裕がない。時には組合活動が負担になることも…。忙しい日々の中、それぞれのバランスをどうとっていますか・みんなで交流する中で、自分らしい生き方を見つけてみませんか・

E「働き続けられる職場をどう作るか ~自分たちの働き方を見直してみよう」

12春闘「統一要求」の討議で、各分会では自分たちの働き方を見直す視点で、たくさんの討議をしていくことが出来ました。その討議状況を交流し、これからも自分たちの職場を主体的に働きやすくしていくために深めましょう。世の中の常識や法律も知りながら、「働き方」チェック・分会に持ち帰りたくなる中身です。

F「対等な労使関係をどう築くか」石井一由記さんと共に

民主的な労使関係の元でこそ、良い職場・仕事作りが出来ていきます。労使関係はその職場を映し出す鏡です。この分科会では、長らく労働組合・全労連・全国一般・で役員を務めた経験を持ち、今は、福祉職場の理事の立場でもある経営管理者会議会長の石井一由記さんに、いっしょに討議の輪に加わっていただいでざっくばらんに話します。



15日(日) 開校講演

「福祉労働や保育・子育てが面白くなるお話」 講師・土佐いく子さん



定年まで小学校の教壇に立ってきた土佐いく子先生の、教育エピソードはもちろん、働く者の先輩として、健康で生き生きと働き続けてきた秘訣などもお話しいただきます。また、教師として保護者支援や職員集団等の人間関係をどう捉え、どう取り組んで来たのか、そんなお話しも私たちの仕事と通じるものがあるでしょう…。元気で有名な土佐先生のお話を聞き、明日からの仕事にまた元気に向かっていきましょう。

【プロフィール】

土佐いく子：1948年広島生まれ。広島大学卒業。38年間小学校教諭として働き2008年3月定年退職。現在、大阪大学・和歌山大学非常勤講師。主な出版物は「子どものまなざし」「子育てが面白くなる話」「母ちゃん先生奮闘記」など多数。2013年2月「学級作りが面白くなる話」刊行予定。

